事例No.	2399
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	京都府和束町

事例区分	DX

タグ	・AI ・交通事業 ・少子化・人口減少

事例種類	交通手段の確保

事例内容・タイトル

地域交通デマンド化事業

出典

総務省ホームページ

令和４年度過疎地域持続的発展支援事業

地域公共交通デマンド化事業（京都府和束町）

R6.1時点

【事業実施主体】和束町
【R4交付金活用額】13,840千円

【事業背景】

○高齢化と人口減少（高齢化率47.6%、人口減少率42.8%（30年前比））によりバス利用者が10年間で約7割減少
○町唯一の公共交通であるバスの維持費が財政を圧迫しており、交通サービスの抜本的な見直しが必要

【取組内容】

【令和4年度に実施した事業】

○茶源郷乗合交通「WazCar」の運行開始
○バス停4箇所を含む乗降場所を町内約60箇所に設置
○乗車体験会及びスマートフォンによる予約体験会等を開催し、登録・利用者を確保

スマートフォンから文字・地図・履歴で予約できるシステムを開発





乗車体験会の開催





スマートフォン等による予約体験会の開催



町内約60箇所に乗降場所設置



【成果、工夫点（令和4年度）】

○バス停から自宅まで急勾配で離れた場所に居住していた高齢者等の移動機会の拡大につながった。
○これまで家族の送迎に頼らざるを得なかったが、いつでも自由に好きな時間に外出できるようになった。
○参加者募集型の説明会に止まらず、定例的に開催される各地域のサロンや集会等に参加して事業説明や利用登録者確保を行った。

【令和5年度実施中の取組】

○実証運行を継続し、特に4月からバス路線が廃止される地域を中心に住民が利用しやすい乗降場所に見直す　→　町内81箇所に増加
○サービスの認知と、住民や地域団体等が主体となった運行体制への移行も視野に、住民ワークショップ等を実施